会議議事録

会議名	AI・ロボット工学部 教育課程編成委員会（第 1 回）
開催日時	2023 年 8 月 21 日(月) 16:00~17:00
場所	オンライン会議
出席者	＜外部委員＞ 伊勢 智彦（大手前大学 准教授） 澁谷 和政委員（日東コンピュータサービス株式会社 姫路事業部） 西山 将司（日東コンピュータサービス株式会社） 松尾 陽太（カワサキロボットサービス株式会社）（欠席） 竹田 侑平（カワサキロボットサービス株式会社） ＜学校委員＞ 矢部宰文（校長兼ＡＩ学部長） 黒山 新吾（ＡＩ学部学科長代理） 山本 涼平（ＡＩ工学科講師） クラウディア ボニージョ（国際ＩＴエンジニア工学科講師） ＜事務局＞ 茨木 浩（ＡＩ工学科講師）
議題等	[会議目的] 教育課程編成委員会の趣旨について確認するとともに、当校の AI 工学部の カリキュラムの概要について説明し、意見交換した。 [次第] １．開会 ２．議事 (1) 資料説明と出席者確認 (2)「職業実践専門課程」の文部科学大臣認定について (3) 2023 年度前期の時間割の説明 (4) 2023 年度後期の時間割の説明 (5) 質問時間 ３．閉会 [配布資料] ・令和 5 年度 AI・ロボット工学科会議資料 ・職業実践専門課程の説明 ・2023 年度時間割 [内容] 以下、次第に沿って会議が進められた。 1. 開会 （矢部校長）開会にあたり、職業実践専門課程の趣旨と教育課程編成委員会の役割について委員に説明した。

	2.　議事 （1）資料説明と出席者確認 （事務局）どうぞよろしくお願いします。今日の資料をチャットで今お送りしましたので各自ダウンロードお願いいたします。 今日参加していただいている皆様ご紹介させていただきます。メンバーについては昨年度とほぼ変わりありません。大手前大学の伊勢様、日東コンピュータサービス株式会社の渋谷様、西山様。川崎ロボットサービス株式会社から武田様ですが 今日は代理で松尾様にご出席いただいております。 当校の日本工科大学校からは、AI・ロボット工学科長代理の黒山委員。講師の山本委員 クラウディア委員。今日の進行を進めさせて頂いております 茨木が出席しております。よろしくお願い致します。 （2）「職業実践専門課程」の文部科学大臣認定について （事務局）資料 2 番には職業実践専門課程の詳細が示されているかと思います。専門学校で職業実践専門課程の認可を受ける要件がございまして「修業年限が 2 年以上」である点ですが当学科と留学生専用の国際 IT エンジニア工学科の両方とも 2 年以上ということで満たしております。それから企業と連携して、授業科目等の教育課程を編成」ということで、現在行っておりますこの会議がそれに該当します。 そ の他、「企業等と連携して、演習・実習等を実施」ということで企業と連携した科目がございます。それから「授業時間数 1500 時間以上と総単位数が 62 単位以上」ということで学科の時間数と総単位数はこれを満たしております。それから「企業等と連携して、教員に対し、実務に関する研修を組織的に実施」ということでこれに関しましては学科教員が様々な研修等に参加するということで実施しております。 最後の部分ですが 「企業と連携して学校関係者と情報公開を実施する」ということで実施した内容に関しましては当校のホームページに公開をしております。既に自動車並びに建築の分野に関しましては職業実践専門課程の認可を得まして内容についてはホームページで公開しております。いずれ当学科につきましても認可が下りましたら情報公開を行うということになります。 （3）2023 年度前期の時間割の説明 （事務局）お送りいたしました資料 3 について見ていきたいと思いますが同時に資料 1 の職業実践専門課程に対する当学部カリキュラムの内容というのもございますので そこも合わせてご覧ください。昨年度のカリキュラムから今年度カリキュラムは少し変えておりますのでご説明致します。 まず 1 つ目は、AI ロボット工学科の 1 年生向けに基礎情報学 1,2,3,4 と情報数学 1,2 というものを新設しております。これは基本情報技術者の午前免除講座を実施する科目として作っております。これまで学んでいた科目は一部廃止となっているものもあるということになりますので学科としては基本情報技術者の取得というものをより強く打ち出しているとも言え

	ます。その反面、1年生はロボットに触れる機会が少ないというのも一部考えられます。実際に以前はロボット工学 という授業もあったりしたのですが 現状の1年生の科目ではAI ロボット工学科という名前をつけておりますけどもロボット工学という科目は一科目としては今無いという状況ですね。カリキュラムとしてはこれが大きな変更点になります。基本情報技術者試験のシラバスに対応した教科書を用いていましてそれに基づいて前期は基礎情報学 1,2,3と 情報数学があるというところです。後期になりますと基本情報技術者の午後試験対策ということで基礎情報学4というものがあります。 前期のうちに基本情報技術者の午前免除講座という形で取り組んで前期が終了したという状況でございます。後期は12月に午前免除試験がある予定ですので1年生はその午前免除試験合格を目指していくという形になります。その他の科目に関しましてはシステム設計、Webプログラミング、グラフィック関係の科目、MOS対策、それからpythonの実習、 プログラミング演習でC#の実習ですね、それから一部学生については ITパスポートの受験をしたいという希望も一応ありましたので基礎情報学演習という名前で、これは it パスポートの対策ということで 希望者に選択科目として用意をしてます。金曜日の下にありますが、この部分が 電子工作実習ということでロボットに触れる機会が今年の1年生はないのでその代わりと言ってはなんですがロボットのエッセンスになるような電子工作であるとかIoTに関係するものを夏休みの集中講座 ということでもちろん単位認定する形で科目を開講して実施しております。これらが今の現状の一年生の科目です。2年生に関しましてはpythonに関する開発関係の科目がありまして、それからコースによって変わるんですがロボットコースの学生は機械工学ですとか設計あるいは機械とか電気関係の資格を取るための科目を学んでいたりですね、あるいはロボットに関する技術を学んでいたり、あるいは あの各コースとなりますが今年度は AIを 学んでいたり データサイエンスを学んでいるという日もあります。それから資格ですね、ロボット・ AI・ SEの 3 コースございますが 各学科それぞれの資格の対策の授業もあったりします。SEコースに関しましては、システムエンジニアに関する先端技術学ぶような授業 もありまして あとは、先端言語に関する開発を学ぶ時間もあったりします。AIコースに関しましてはAIに関する先端技術を学ぶというような授業があったりします。それが今回の二年生の科目になります。資料1にも示しているのですが、二年生のロボットコースの在籍者が2名ということで他コースに比べるとロボットコースの学生が少なめとなっていますが昨年度はロボットコースの学生が非常に多くて昨年の2年生全体で12名いたのですがそのうちの8名ほどがロボットコースということでした。2年生に進級する時にどのコースに所属するかっていうのを決めていくのですが年によって変動が結構大きいという印象です。学生の色と言いますか学生の特徴が年度によって結構違いますのでそれによって大きく変わるなあという印象です。二年生からのコース選択制というのを敷いて3年目となりますので1年生入学時の20名が今後どのようなコース選びをするかというについてはまた教員

	でまた見ていきたいと思います。入学するときの希望は大雑把に目標を決めて入学するのですが、目指すところと学んでいる内容から感じるところが違うためにコースを変える学生もいますのでこの後期に調査する内容で変化というのもまた確認していきたいと思います。これらが本科 1,2 年生のカリキュラムに関する説明になります。 もう一つは留学生専用の令和 5 年度から 名称 変わりましたが IT エンジニア 学科というものもございます。こちらも大きく変えておりまして日本語の時間を多くしているというのがひとつの特徴です。留学生に関しましては 通常は午前のみ、あるいは午後のみの半日の授業で、その後の時間はアルバイトをするというような時間に当てているのですが 年々、留学生の日本語のレベルが下がってきているというのもありまして 日本語力あるいは 日本語の資格試験合格率を高めるという意味で 日本語の時間を多くしております。在学中に jlpt の N 2 というものの取得を目指しているわけですがなかなかそこまで そこまでたどり着かない 学生も多いということで 今年度から多くしております。 例えば以前は週に 1 日だけ日本語の授業を組んでいましたが学生によっては 2 日間日本語を勉強するというのを設定しております。その他に 情報日本語などの授業におきましても、日本語の教科書を使いまして授業の中で学生と読み合わせをしながら情報に関する日本語を学ぶというような形で専門用語を学ぶという授業を新設しまして将来情報系に就職した時にも対応できるような日本語能力というのを学習 するような時間を設けました。それから留学生に関しましては 2 年生になってから就職活動に向けた内容ということでキャリアプランニングという授業を作りまして例えば日本における履歴書の作り方ですとか日本における就職活動の流れや、求人票見方とかどこで求人見るかとかそういったところを学習するような時間も設けております。最近はものづくりの企業に就職するという学生も出てきておりましてそれに対応するような授業などを学習する時間も設けております。これらが留学生の時間割の特徴というところになります。昨年度と変化している部分で言うとこの辺りになります。 （3）2023 年度後期の時間割の説明 （事務局）今示している資料についてですが、 9 月 最終日から始まる後期の時間割になります。 前期とほぼ近しい内容になりますが 1 年生の後期には情報数学が隔週で行われるのですが 情報数学がない週には 1 年生にキャリアプランニングを実施して就職活動の対策を行う授業になります。その他科目につきましては前期の科目の発展版というような内容になっていますので科目に 1 はなくて 2 という名前がついて引き続き学習するような内容のものが多くあります。1 年生 一部 AI 概論ということで AI 概論を学ぶというような 授業 もあったりします。 大きく変化したものでいますとあの先ほど申し上げた通り基礎情報学というのがあったり あるいは 留学生は日本語強化するようになったところが大きな変更点でございます。ということであの現状のカリキュラムにつきましてはご説明をさせていただきました。 今年度のカリキュラムの特徴について何か不足で説明する点などはありま

	すでしょうか。 （黒山委員）説明していただいた内容で大丈夫です。 （伊勢委員）入学生は１年生が 20 人いましたが その後の入学辞退者が出て現状 19 名の数字が正しいですかね。 （事務局）はい、それで間違いないです。 （伊勢委員）はい、わかりました。ありがとうございます。 資料１には記入させていただいたのですが、私も１年生の授業を持っていまして感じるところということで書いておりますが、特に今年で１年生に目立つなと思ったのですが、前期の科目の学期の途中から体調不良を理由にして途中から来なくなった学生が結構いるなという印象です。これにつきましては渋谷先生と西山先生も同じように思うところあるかと思いますが 学生の状況を茨城 先生に確認していただいたところによるとメンタル的なことであるというのがあるようで 一部診断書が出てきている学生もおります。茨木先生が学生と面談してるところで授業自体についていけないとかそんな声ってのはありますか。 （事務局）そうですね。個人個人での得意不得意があるのですがやはり多いところで言うと資格系がいわゆる基本情報の様々な専門用語が出てくるので学科内でも優秀な学生でもちょっと専門用語を分からなくて 内容についていけないっていうような学生もちらほらおります。 （伊勢委員）いきなり入学して基本情報 目指そうということで学習していた時にマネジメントとかテクノロジーもそうですけども基数変換のところを学習したり専門用語で英語の頭文字の３つ合わせたようなものが 色々出てきてそれ覚えてるのが大変なのはよくわかりますね。自分なりにコツコツ 学習していけるかどうか っていうのも 一つ大変ですけどもやらないといけないとこではあると思いますので何とか自分なりの モチベーションを上げなきゃいけないっていうのがあるのかなと思いますね。また今年度は２年生のロボット系のコース 配属者から先日カワサキロボットサービスさんの方で１名実践演習に参加させて頂いております。内容としては 昨年度と同様の内容で実施させていただいておりますが もし松尾様の方で武田様からの当日の状況など何か情報がございましたらお願いしたいと思います。 （松尾委員）はい、松尾 です。よろしくお願いします。私が実際対応したわけじゃないのですが特に問題なく終わっているとのことで 基本的に真面目に取り組んでいただいたと聞いております。また１人だけだったと思いますのでそれもあってだと思いますが特筆して悪いっていうのは特に聞いてはいないです。 （伊勢委員）昨年度は８名 ほど 参加させていただいて ２名１グループ程度でロボット あるいは安全講習等お願いしたのですけども今年度は１名参加ということでまあいろんな機材など独占して使用できるということでそれはそれで学生としてはすごく良かったのかなとは思います。 後期もまた１名参加させていただきますのでまた実習の方お願い致します。 （松尾委員）よろしくお願いします。 （事務局）とういことで当学科の現状について説明させていただきまし

	た。 （5）質問時間 （事務局）今の当学科の内容につきまして現状のカリキュラムを確認しておきたいことがございましたら皆様からご発言いただけたらと思いますがいかがでしょうか。 （松尾委員）カワサキロボットサービスの松尾です。こちらとしての対応として継続的に生徒の方に来ていただいて実習をやっておりますけど今後も継続していくようなイメージでよろしいでしょうか。 （伊勢委員）当学科としましてはこのロボットコースのカリキュラムの中にロボットスクールで受講できるというのが１つ売りになっている所ではあります。ですので、あの次年度以降も引き続きお願いしたいと思います。 （松尾委員）内容を変えたりとかも今のところ予定はないですか。 （伊勢委員）今年度の後期に関しましてはあの昨年度の同様に実習内容も同様で考えております。学生のレベルによって次年度以降少し変更させていただく可能性があります。教員の方でシラバスを作成しましてまた次年度が近くなりましたら内容をご相談させていただこうと思っております。 （松尾委員）はい、ありがとうございます。 （事務局）他の先生方からよろしいでしょうか。 ３．閉会 今日は当学科のカリキュラムの現状についてお話をさせていただきました。第２回には前期の授業を受けて先生方それぞれのご担当の科目でも構いませんがこんな内容にしようかなど、お考えになっている現状をまた教えていただけたら次年度以降のカリキュラム作成で検討していこうと思いますので変更点などもしあれば教えていただけたらと思っております。よろしくお願い致します。今日の会議はこれで終わりたいと思います。ありがとうございました。

会議名	AI・ロボット工学部 教育課程編成委員会（第 2 回）
開催日時	2023 年 8 月 29 日(火) 11:00~12:00
場所	オンライン会議
出席者	＜外部委員＞ 伊勢 智彦（大手前大学 准教授） 澁谷 和政委員（日東コンピュータサービス株式会社 姫路事業部） 西山 将司（日東コンピュータサービス株式会社） 松尾 陽太（カワサキロボットサービス株式会社）（欠席） 竹田 侑平（カワサキロボットサービス株式会社） ＜学校委員＞ 矢部宰文（校長兼ＡＩ学部長） 黒山 新吾（ＡＩ学部学科長代理） 山本 涼平（ＡＩ工学科講師） クラウディア ボニージョ（国際ＩＴエンジニア工学科講師） ＜事務局＞ 茨木 浩（ＡＩ工学科講師）
議題等	[会議目的] 第 1 回には本会議の趣旨と現在のカリキュラム内容について説明し、意見交 換を行い、第２回ではカリキュラムの編成の在り方につて協議した。 [次第] １．開会 ２．議事 （１）出席者確認 （２）前回の確認 （３）AI・ロボット工学科、国際 IT エンジニアのカリキュラムについて （４）質問時間 ３．閉会 [配布資料] ・令和 4 年度 AI・ロボット工学科会議資料 □ ・2023 年度時間割（前期） ・2023 年度時間割（後期）

	［内容］ 以下、次第に沿って会議が進められた。 1.　開会 （矢部校長）企業の立場から見た教育課程の課題について忌憚のないご意見 をいただきたい旨の開会のあいさつがあった。 2.　議事 （１）出席者確認 （事務局）本日、日本工科大学校の黒山先生は学校の校務ということで研修に行っておりまして欠席となっています。その他の皆様は今出席されている状況です。 （２）前回の確認 （事務局）次に前回の確認ですが、今年度の時間割を電子ファイルで皆様にお送りしております。私の方から今年度の状況をご報告させて頂きました。それを受けまして、今回第２回で委員の皆様から授業カリキュラムについて変更したほうがいい点や継続した方がいい点様々あるかと思いますのでご意見頂ければと思います。 （３）AI・ロボット工学科のカリキュラムについて （事務局）今日欠席している黒山先生から変更点等次年度の予定がありますので事前に頂いた情報をまず皆様に共有させて頂きます。今画面共有しています通り黒山先生の担当している国際 IT エンジニア工学科についてとなります。今年度は、昨年まであったグラフィックの授業を廃止しております。また学科名についてですが、留学生の就職先としてグラフィック関係の求人が少ない点と日本語能力が高くないといけない点で就職が非常に厳しく学生のレベルと求人のレベルがマッチせず廃止する形になっております。留学生が日本で就職する際に、日本語能力試験の 2 級以上の N2 を求める企業が非常に多い為、二年生のうちに合格することを目指して日本語の授業を増やしました。また専門用語に対応するため情報日本語の授業を入れるなど日本語能力を高めるという所に取り組んでおります。先日日本語能力試験の試験結果が返って来ており数名合格しているため、成果が出ているのでは無いかと思います。企業によっては N1 を必要とする会社もありますので、N2 合格後もよりよい仕事に就くために N1 の問題に引き続き取り組ませるなどの授業もしております。それから実際の学習内容を求人にあわせるため CAD の授業を設置しまし

	た。AI をやりたいという学生も居るんですが AI の業務に携わるような業務に就けないという現状がありましてものづくり関係の CAD を使用した業種に就職する学生が 90%を超えており、県内のものづくりの会社に大勢就職し活躍しておりますので今年の留学生には CAD 関係で図面や設計をする授業を増やしている状況です。次年度は BIM、CIM といった建築関係への 3 次元 CAD 導入に対応するオペレーターが非常に求められているとのことで次年度からその授業を実施する予定です。企業からの声でも BIM、CIM ができる社員がいらっしゃらずこれができる人が入ってくれると非常に助かるとのことで次年度以降この科目を新設する予定です。国際 IT エンジニア工学科は日本語とものづくり関係をしっかり学ぶという２本柱で教育を進めていこうという意見を黒委員生から頂いております。国際 IT エンジニア工学科担任のクラウディア先生から補足があればお願いしたいのですがいかがでしょうか。 （クラウディア委員）はい。カリキュラムについて日本語の授業の中でもやはり専門用語を教える授業を増やすのはいいかと思います。また、日本語の授業の中でもプレゼンテーションをする力が必要だと思います。２級レベル合格の学生でもコミュニケーション能力が足りない学生が多いため次年度以降その部分を強化できる科目を入れたほうがいいかと思います。 （伊勢委員）JLPT はマークシート形式のため 25%で分からなくとも当たってしまう可能性があり本当に日本語能力がついているかどうかは総合的には測れない所もあるかと思います。逆に合格していなくともコミュニケーションが上手な学生もいたりして日本語能力を総合的にアップしていく必要もあり、JLPT 対応は日本語授業の先生にお願いして、我々はその部分に主眼をおいて行っていけばいいかと思います。 （事務局）では AI・ロボット工学科の方でお気づきの点や改善点あれば委員の皆様からご発言頂ければと思います。どんなことでも結構です。 （西山委員）西山です。いくつか確認というか質問させて頂きたいことがあります。 （事務局）はい、お願い致します。 （西山委員）二年生のコース選択の比率が去年と変わったと話がありましたが学校としてコース選択の比率をこれくらいにしたいという希望的なところはありますでしょうか。 （クラウディア委員）はい。コース選択は、本当は３コースあるので授業の運営上は３コース均等な方がやりやすいと思いますが学生の希望を重要視するというのが我々の方針でして年々比率が変わるということがあってもそれはそれぞれのコースでやってもらうというのが現在の方針ですね。学科としては学生には３コース均等に分けたいということは言

	っていません。そうしてしまうと学生募集で厳しい面がありますので、学生の行きたいコースに行けるようにしています。 （西山委員）すみません、大事な所で切れてしまいました。今一年生を対象にC#の講師させていただいていますが、2年生のSEコースの内容について詳しく説明して頂けますか。 （事務局）山本委員生お願いできますか。 （山本委員）はい、では私山本の方から説明させて頂きます。SEコースの授業に関しまして、非常勤の大塚先生を中心に授業展開しておりまして資格対策は基本情報の午後試験対策を、木曜にはコースに合わせたAIの授業をしております。SEコースとして重要な点かと思われるのは先端言語開発とSE先端技術ですね。この科目に置きましては就活の観点からJAVA言語の習得とスマートフォンのWEBアプリケーション開発であったりSEといっても幅広い業種ございますので様々な言語であったり1年生で学習した内容をさらに突き詰めた内容形で授業の方はさせていただいています。 （伊勢委員）今年度はSEの皆さんは学校の出席管理システムみたいなところを取組む予定はありますでしょうか。 （山本委員）そうですね、実習というか作品制作というところで学校関係やソフトウェア関係などの開発も進めていく形になっております。 （伊勢委員）AIに関しては昨年度まで 本工科大学校の常勤 だった松尾先生という先生がいらっしゃって今年度非常勤で引き続きお願いしているのですけども、元々松尾先生はAI関係企業に勤めていらっしゃってその技術を あの SE の 学生にも伝授していただいているような形になりますね。画像認識だとかの専門が元々なのでそういったものを活用したあの開発を学習してもらっていますね。 （山本委員）はい。 （伊勢委員）ありがとうございます。 （西山委員）卒業制作というのは各自それぞれで何か取り組んでいただく っていう形になっているのですか。 （山本委員）はい。卒業制作に関しましては1人1人作品の制作の方 え学生たちにやっていただいている状況ではありますけれども、一部 あのちょっとグループワークという形でチームでの開発をするという学生も、もちろんおります。今年度後期から新たに非常勤の西野先生をお迎えして2人体制 で良いものを作っていこうという形で授業の方は説明させていただいております。 （伊勢委員）学生 ごとに制作レベルがまちまちでありますけれどもウェブサイトで公開できる仕組みなど外部の方が見れるようにするといいかと思います。

	（山本委員）7月に卒業政策の中間報告会を実施させて頂きましたのでまたそちらの内容を非常勤講師の teams の連絡板などで共有させていただければと思 っております。 （西山委員）ありがとうございます。後は、授業をやっていて今年は昨年度と比較してあの席替えが割と少なかったので、それによって慣れてしまっているのか、比較的騒がしくなっているところがございまして もしかすると昨年度されていたように定期的な席替え っていうのはあってもいいのかなというのが 少し感じたところです。 （茨木委員）あまり考えたところなく前期で1度、後期で1度できればいいかなといったそのことしか考えておりませんでした。改善点 として 1ヶ月に1度程度の頻度で席替えの方を入れさせていただければ良いかなと思っております。申し訳なかったです。 （西山委員）慣れたほうがいい場合もあり、難しい所ですが少し気になったので、一応お伝えしておきます。 （伊勢委員）仕事ってグループでやることが結構多くて、必ずしも ずっと同じメンバーというわけじゃないですよね。そういった観点も考えると席替えして、 特に1年生は 去年もそうでしたけどもえ留学生もいますからその学生がうまくグループワークできるような形にできればいいのではと思います。 （西山委員）社会人になった時も先ほどおっしゃられたみたいにチームであの色々する機会が多く、弊社の話になるのですけどもプロジェクトがそれぞれで立ち上がったら違うプロジェクトにアサインされて新しいメンバーで、こうやり取りするので、そういった社会人になる想定をしても先ほどの席替えがまああってもいいのかなというのとビジネスマナー的なところで提出物をした時のあの連絡に対する返信であるとかそういった所っていうのも何かお伝えしてもいいのかなとも思います。マナー的なところをある程度教えておくとあの社会になってもすぐに即戦力になったりできるのかなとちょっと思いました。 （伊勢委員）おっしゃる通りです。後期からキャリアプランニングが始まってくるのでそこでリクナビ マイナビ登録とかに限らず業界研究とかメールのマナーとかそういったところもやって行ったらいいのかなと思います。 （事務局）他いかがでしょうか。ご質問でもあのご意見となんでもよろしいです。もちろんあの学内の常勤の先生でもいいです。大丈夫そうですか。 （山本委員）すみません、逆に各先生に質問という形で申し訳ないのですがお聞きしたい事がありまして、資格対策の方を担当された茨木先生渋谷先生にお伺いしたいのですが昨年からの変更点として2年生の就職

	活動に入るタイミングまでに基本情報を取れるようなカリキュラムを目指すような形で午前免除を1年生の前期から実施しておりますがそのあたり二人のご意見よければお聞かせ願えないでしょうか。 （黒山委員）3人の先生で私と大塚先生と渋谷先生で進め方はだいぶ変わってきているとは思うのですが、情報系に触れたことのない学生が大多数な印象で基礎的な考え方や初歩的な専門用語が身についていない為、解説を理解できているか怪しい部分があります。前期成績でも結構できる学生だなという印象を持っていた学生でもギリギリで可の成績で、半数近い人数の成績が認定になってしまっているというような実情があり私が考えている以上に学生は理解できていないのではないかと思いました。 （事務局）ありがとうございます。では渋谷委員お願い致します。 （渋谷委員）4月から基本情報に向けてということについては、私はいいかなと思 います。去年は IT パスポートから始めて後期から基本情報だったのですけど免除試験に向けてかなりあの詰め込んで時間厳しかったなというのはありました。IT パスポートと基本情報の科目 A は 難易度的に大きく差がないかなという風に感じていまして最初からあの基本情報を狙ってやってもらった方がいいかなという風には思っています。 ただ免除試験が半年に2回しかなく、1回目は早すぎるというところで2回目はだいぶ期間があいてしまう点をどうするかというのは課題としてあるかなと思います。ただ私のところでは試験 2回やったのですけど 試験の点数は思っていたより皆さんちゃんと勉強して取ってきてくれたなというのはあの印象としてはありました。今の調子でちゃんと 12 月までまた復習なりして続けてもらったら午前免除は取れるっていう風に は感じていますね。逆に後期から科目 B の授業になるんですけど週 2 コマではなかなか合格レベルまで持っていくのは厳しそうと思います。 （山本委員）ありがとうございます。 （伊勢委員）IT パスポートの今年のシラバス見たのですが、内容が増えていますね。ですので、おっしゃる通りあまり変わらないですね。だったらもう最初から基本情報の内容で全く問題ないかなという私もそういう考えです。私の金曜日にある情報数学の中で基本情報の数学分野を担当しているのでその時間使って練習問題は少しやっていこうかなとは思うんですが過去問題を少しやる時間を自分で確保するよう指導する必要がありますね。午前免許試験過去問から中心出るので過去問題をやり込めば7割以上取って合格すると思うので担任の茨木先生にケアしてもらえればと思います。 （事務局）山本委員からの紹介で過去問を見せていただいたのですが応用情報の問題であったりだとか情報マネジメントの内容であったりとか

	といったところも入ってきますのでそれも含めて過去問を生かしていくような形で対応していこうと考えております。 （伊勢委員）応用情報なんかは難しい数学も出てくるのでこちらでもそういったところは取り扱って行こうと思います。 （事務局）他如何でしょうか。今はまだ話しに出ていませんがロボット関係については学校では6軸アームロボットがありC言語あるいはpythonで操作するという実習は学科内にもあります。そういったいろんな種類のロボットに触れる時間が1年生には確かに少ないと思います。そんなところでしょうかね。 （松尾委員）ひとつだけよろしいでしょうか。心配することじゃないかもしれないですけどもたまに聞くのがそもそも パソコンの入力 自体ができない人が増えていると見ましてもうちょっと基礎のところで足場を固めるって言うのも検討の1つに入れてもいいのかと思いました。 （伊勢委員）ありがとうございます。今回初めてパソコン 買いましたっていう学生もいますね。今年度は授業の前からオリエンテーションにてパソコンで使うソフトを みんな一緒にインストールしようかとか、wi-fi のつなぎ方みたいなところを みんなやっていました。学生の中でファイルがどこにあるかわかんない とかどこに保存したかわからんとか「一回保存したけどどこにどっかに行ってしまってもわかりません。」みたいな学生がやっぱり中にはまだいるのでファイル管理とかとか含めて練習する時間っていうのがあった方がいいかなっていうのは 感じますね。今の1年生見ていて如何でしょうか。 （西山委員）保存場所がわからないはかなり頻発しておりましてファイル名を変えるとかやはりそういったところがなかなかちょっと難しいようで反復を繰り返したらその同じ作業は確かにできるのですけれども、ただ実際概念とかがちょっと分かっているかどうかスタート時のそこだけはあの全体で1回やっている方がいいのかもしれないですね。 （事務局）ありがとうございます。1回説明はした方がいいのかもしれないですね。メールの添付ファイルを保存したらどこにあるかわからないなどありえますね。 （西山委員）ダウンロードしたら場所がわからないということになっていそうでした。 （事務局）分かりました。ファイル 構造概念について少し練習が必要な感じもしますね。次年度の新入生のパソコンセッティング練習の流れで少しそういった取組みを入れたいと思います。 （事務局）ほか如何でしょうか。色んな先生からご意見頂きまして概ね現在の内容でいいかと思いますが微修正がやはり必要かと言う所でし

	て、学科設立以降毎年科目を大きく変えながらやってきたのですが今年に関しては僅かな修正だけでいいかと思っております。また校長と学科の方でカリキュラム変更検討しまして次年度に反映していきます。9月最終週から始まっていきますので授業の中でまたお気づきの点があればお知らせ頂ければその都度また対応させていただきたいと思います。 ３．閉会 （事務局）皆様からあの貴重なご意見をさまざま 賜りましてありがとうございました。本日それから前回の内容を含めてですね 次年度のカリキュラムの作成に役立てていきたいと思います。では今日の会議はこれで終了とさせて頂きます。お忙しいところお時間頂きまして誠にありがとうございました。